

一迫花山商工会 中期計画 (平成31年度～33年度)

栗原市が掲げる「市民が創る くらしたい栗原」「地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまちを創るために」の実現に向けて、商工会が当面する課題を解決するため、商工会が取り組むべく方向性（サブミッション）を明らかにし、どのような手を打てばよりミッションに近づくか、地域目標実現化のため次の3カ年の中期計画を策定する。

●経営発達支援計画に基づく小規模企業支援施策の強力な推進

小規模事業者の持続的な発展に資するため、小規模事業者にとってより身近で中核的な支援機関として商工会の支援機能を抜本的に強化し、小規模基本法で定める総力を挙げた支援策を構築する。

計画内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
地域の経済動向調査の実施(定量目標)	4回/年	4回/年	4回/年
経営状況の分析件数(定量目標)	5件/年	5件/年	5件/年
巡回訪問回数(定量目標)	1,250回/年	1,300回/年	1,350回/年
事業計画策定セミナー・個別相談会回数(定量目標)	2回/年	2回/年	2回/年
事業計画策定事業者(定量目標)	5件/年	5件/年	5件/年
需要動向調査回数(定量目標)	1回/年	1回/年	1回/年
新たな需要の開拓に寄与する事業件数(定量目標)	3件/年	3件/年	3件/年
創業支援対象業者(定量目標)	1件/年	1件/年	1件/年

●商工会組織の強化

商工会の組織率を向上させ、会員事業所の経営基盤を強化し、地域経済の活性化につなげる。

計画内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
組織率の向上を図る(定量目標)	83.3%	83.3%	83.3%
年度末会員数(定量目標)	260名	260名	260名

●地域コミュニティ維持（地域貢献）活動の強化

地域のコミュニティの疲弊・高齢化が深刻化する中、商工会として地域経済社会に貢献する活動を積極的に推進する。

計画内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
消費者ニーズに対応した商店街形成	→		
地域住民への情報発信(商工いちはさま・はなやま)	→		

●地域の特産品を活かした新たな取り組み支援の強化

地域の特産品を活かした新たな取り組みや新商品開発等を行う事業者に対し、栗原市と連携・協力し、販路開拓に向けた支援を行う。

計画内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度
販路開拓に向けた事業者支援	→		
栗駒山麓ジオパーク構想への協力	→		